

# 平成30年度 岡山県道路メンテナンス会議

○日 時：平成31年3月25日（月）  
14：30～

○場 所：岡山国道事務所 3階会議室  
（岡山市北区富町二丁目19-12）

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 議事

- (1) 規約改正
- (2) 定期点検要領（技術的助言）の改定について
- (3) 平成30年度 研修・講習会、広報活動等の実施状況
- (4) 自治体技術支援

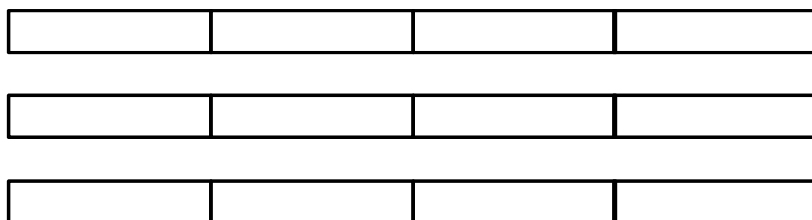
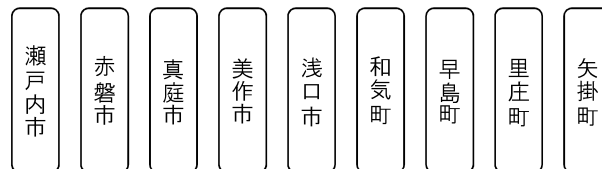
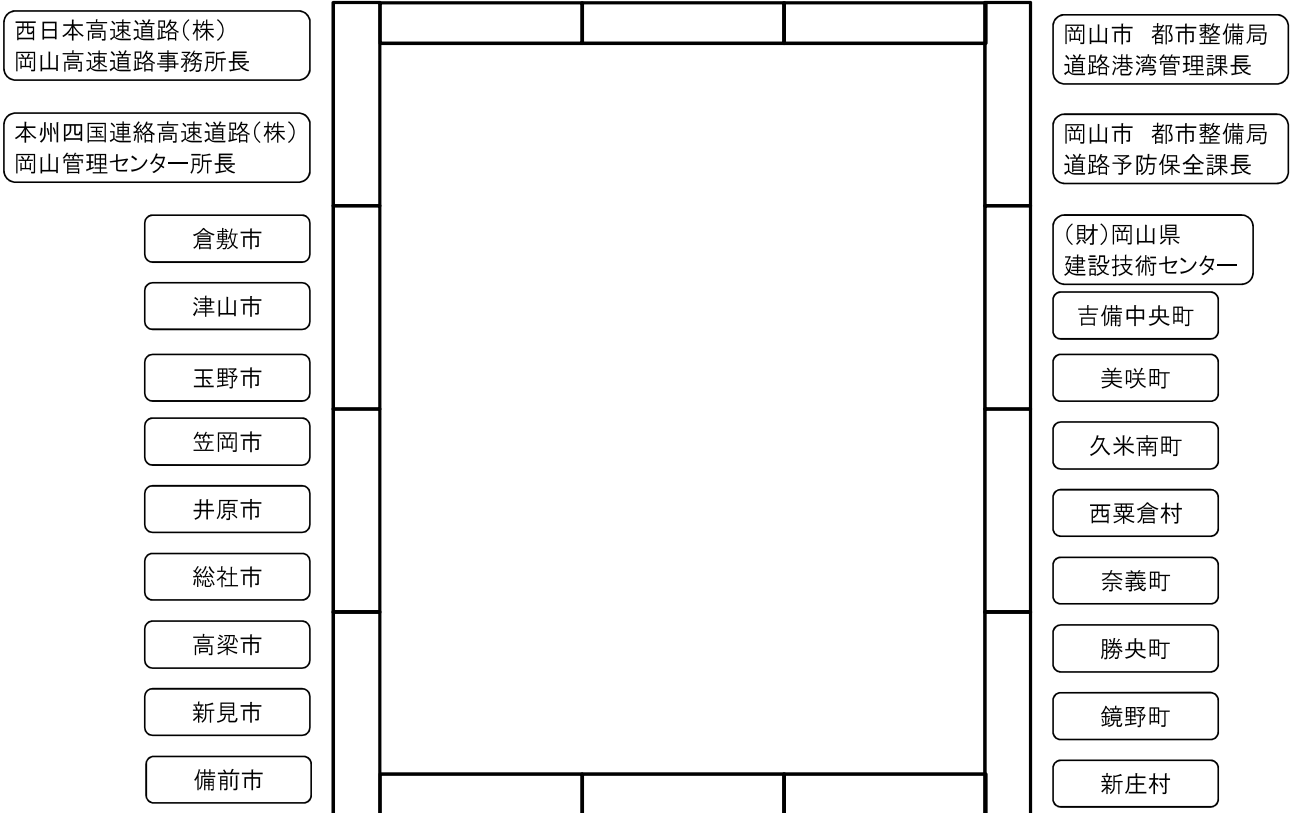
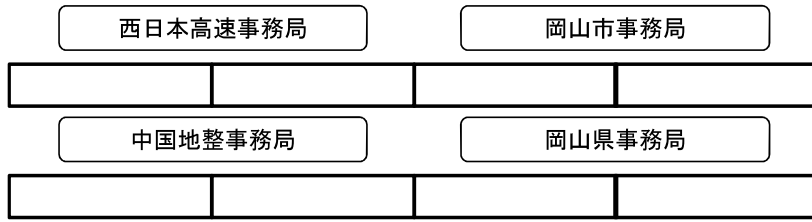
### 3. 連絡調整

### 4. 閉会

## 平成30年度 岡山県道路メンテナンス会議 出席者名簿

	組 織 名	役 職	氏 名	当日出席者	
				役 職	氏 名
会長	国土交通省中国地方整備局	岡山国道事務所長	松野 栄明	岡山国道事務所長	松野 栄明
副会長	岡山県土木部	道路建設課長	長尾 俊彦	道路建設課長	長尾 俊彦
副会長	岡山県土木部	道路整備課長	齋藤 元雄	道路整備課長	齋藤 元雄
副会長	岡山市都市整備局	道路部 道路港湾管理課長	大林 弘明	道路部 道路港湾管理課長	大林 弘明
副会長	岡山市都市整備局	道路部 道路予防保全課長	横山 浩三	道路部 道路予防保全課長	横山 浩三
副会長	西日本高速道路株式会社中国支社	岡山高速道路事務所長	秋山 隆之	岡山高速道路事務所長	秋山 隆之
	本州四国連絡高速道路株式会社	岡山管理センター所長	津村 敏之	岡山管理センター所長代行	中西 治
	倉敷市	土木部長	梶田 英司	土木部次長	亀山 貴之
	津山市	都市建設部長	岡部 卓史	都市建設部長	岡部 卓史
	玉野市	建設部長	小橋 康彦	土木課長	熊沢 信之
	笠岡市	建設部長	坂本 明	建設部 次長	齋藤 秀三
	井原市	建設部長	橋本 良啓	都市建設課長	西田 直樹
	総社市	建設部長	林 圭一	建設部長	林 圭一
	高梁市	産業経済部長	丹正 鎮夫	産業経済部次長	大福 範義
	新見市	建設部長	小林 重信	建設課長	伊藤 信明
	備前市	建設部長	藤森 亨	建設部長	藤森 亨
	瀬戸内市	産業建設部長	難波 利光	産業建設部長	難波 利光
	赤磐市	建設事業部長	塩見 誠	建設課長	杉原 洋二
	真庭市	建設部長	宮本 隆志	建設部長	宮本 隆志
	美作市	建設部長	真野 弘紀	建設部長	真野 弘紀
	浅口市	産業建設部長	井上 聡	建設課長	小椋 章宏
	和気町	産業建設部長	南 博史	産業建設部長	南 博史
	早島町	建設農林課長	大崎 俊二	建設農林課長	大崎 俊二
	里庄町	農林建設課長	仁科 成彦	農林建設課長	仁科 成彦
	矢掛町	建設課長	渡辺 孝一	建設課 課長代理	守屋 裕文
	新庄村	産業建設課長	石藤 延史	主事	船水 佳祐
	鏡野町	建設課長	安道 智秋	建設課長	安道 智秋
	勝央町	産業建設部 参事	安東 弘昌	産業建設部 参事	安東 弘昌
	奈義町	地域整備課長	浅野 康之	地域整備課長	浅野 康之
	西粟倉村	建設課長	小椋 一成	建設課長	小椋 一成
	久米南町	建設水道課長	杉本 隆志	課長補佐	森尾 利孝
	美咲町	建設課長	國宗 順	建設課長	國宗 順
	吉備中央町	建設課長	河内 啓一郎	課長補佐	高見 知之
	国土交通省中国地方整備局	中国技術事務所長	堀江 豊	中国技術事務所長	堀江 豊
	公益財団法人岡山県建設技術センター	技術部長	鍋谷 敏昭	技術部長	鍋谷 敏昭
オブザーバー	国土交通省中国地方整備局 道路部	地域道路調整官	平山 和弘	地域道路調整官	平山 和弘
	国土交通省中国地方整備局 道路部	道路保全企画官	藤原 浩幸	道路保全企画官	藤原 浩幸
事務局	国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所 計画課・管理第二課				
	岡山県土木部 道路建設課				
	岡山県土木部 道路整備課				
	岡山市都市整備局 道路港湾管理課				
	岡山市都市整備局 道路予防保全課				
西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所 統括課					

# 平成30年度 岡山県道路メンテナンス会議 配席表



# 平成30年度 岡山県道路メンテナンス会議

## 議 事

- |                                |      |     |
|--------------------------------|------|-----|
| ( 1 ) 規約改正                     | 資料 1 | P 1 |
| ( 2 ) 定期点検要領（技術的助言）の改定について     | 資料 2 | P 5 |
| ( 3 ) 平成30年度 研修・講習会、広報活動等の実施状況 | 資料 3 | P 6 |
| ( 4 ) 自治体支援                    |      |     |
| ● 平成31年度地整主催の研修等               | 資料 4 | P13 |
| ● 平成31年度メンテナンス会議等主催の講習会等       | 資料 5 | P14 |



## 岡山県道路メンテナンス会議規約

(改正案)

(名 称)

第1条 本会議は、「岡山県道路メンテナンス会議」(以下「会議」という。)と称する。

(目 的)

第2条 会議は、道路法(昭和27年法律第180号)第28条の2に規定の「協議会」に位置付けるものとし、岡山県内の道路管理を計画的、効率的に行うため、各道路管理者が相互に連絡調整等を行うことにより、道路施設等の予防保全・老朽化対策の強化等を図ることを目的とする。

(協議事項)

第3条 会議は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- 一 道路施設の維持管理等に係る情報共有・情報発信に関すること。
- 二 道路施設の点検、修繕計画等の把握・調整に関すること。
- 三 道路施設の技術基準類、健全性の診断、技術的支援等に関すること。
- 四 その他道路の管理に関連し会長が妥当と認めた事項

(組 織)

第4条 会議は、別表1に掲げる、岡山県内における高速自動車国道、一般国道、県道及び市町村道の各道路管理者等で組織する。

2 会議には、会長及び副会長5名を置くものとし、会長は国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所長、副会長は岡山県土木部道路建設課長、同道路整備課長、岡山市都市整備局道路港湾管理課長、同道路予防保全課長及び西日本高速道路株式会社中国支社岡山高速道路事務所長とする。

3 会長に事故等あるときは、副会長がその職務を代行する。

4 会長は、個別課題等についての検討・調整を行うため、専門部会を設置することができる。

5 会議には、高速自動車国道、一般国道、県道及び市町村道の各道路管理者からなる幹事会を置くものとし、構成は別表2のとおりとする。

6 道路施設等の不具合発生時等における技術的な助言、専門的な研究機関等への技術相談の窓口を、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所に置く。

(会議の運営)

第5条 会議は、必要に応じて会長が招集し、運営する。

2 会議には、必要に応じて、会長が指名する者の出席を求めることができる。

(幹事会)

第6条 幹事会は、必要に応じて幹事長が招集し、次の事項について調整する。

- 一 会議の運営全般についての補助、会員相互の連絡調整に関すること。
- 二 会議における議題の調整に関すること。
- 三 その他会議の運営に際し必要となる事項の調整に関すること。

(事務局)

第7条 会議の事務局は、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所計画課、同管理第二課、岡山県土木部道路建設課、同道路整備課、岡山市都市整備局道路港湾管理課、同道路予防保全課及び西日本高速道路株式会社中国支社岡山高速道路事務所統括課に置く。

(規約の改正)

第8条 本規約の改正等は、会議の審議・承認を得て行う。

(その他)

第9条 本規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度協議して定める。

(附 則)

本規約は、平成26年5月16日から施行する。

平成27年6月5日 改正

平成28年7月8日 改正

平成29年7月6日 改正

平成30年3月19日 改正

平成31年3月 日 改正

## 岡山県・道路メンテナンス会議 名簿

	組 織 名	役 職
会長	国土交通省中国地方整備局	岡山国道事務所長
副会長	岡山県土木部	道路建設課長
副会長	岡山県土木部	道路整備課長
副会長	岡山市都市整備局道路部	道路港湾管理課長
副会長	岡山市都市整備局道路部	道路予防保全課長
副会長	西日本高速道路株式会社中国支社	岡山高速道路事務所長
	本州四国連絡高速道路株式会社	岡山管理センター所長
	倉敷市	土木部長
	津山市	都市建設部長
	玉野市	建設部長
	笠岡市	建設部長
	井原市	建設経済部長建設部長
	総社市	建設部長
	高梁市	産業経済部長
	新見市	建設部長
	備前市	まちづくり部長建設部長
	瀬戸内市	産業建設部長
	赤磐市	建設事業部長
	真庭市	建設部長
	美作市	建設部長
	浅口市	産業建設部長
	和気町	産業建設部長
	早島町	建設農林課長
	里庄町	農林建設課長
	矢掛町	建設課長
	新庄村	産業建設課長
	鏡野町	建設課長
	勝央町	産業建設部総括参事
	奈義町	地域整備課長
	西粟倉村	建設課長
	久米南町	建設水道課長
	美咲町	産業建設観光課長建設課長
	吉備中央町	建設課長
	国土交通省中国地方整備局	中国技術事務所長
	公益財団法人岡山県建設技術センター	技術部長
オブザーバー	国土交通省中国地方整備局 道路部	地域道路調整官
	国土交通省中国地方整備局 道路部	道路保全企画官
事務局	国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所	計画課・管理第二課
	岡山県土木部	道路建設課
	岡山県土木部	道路整備課
	岡山市都市整備局	道路港湾管理課
	岡山市都市整備局	道路予防保全課
	西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所	統括課

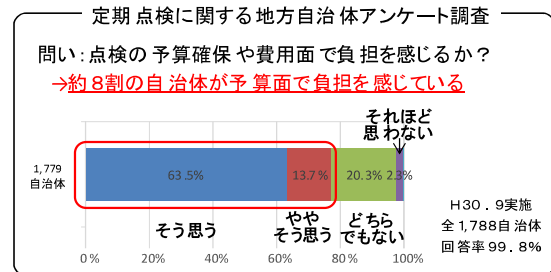
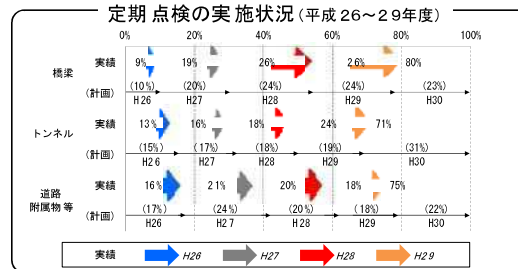


## 岡山県・道路メンテナンス会議 幹事会名簿

	所 属	役 職
幹事長	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所	総括保全対策官
副幹事長	岡山県土木部道路建設課	参事
副幹事長	岡山県土木部道路整備課	総括副参事
副幹事長	岡山市都市整備局道路部道路港湾管理課	課長補佐
副幹事長	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課	課長補佐
副幹事長	西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所	副所長
	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長
	国土交通省中国地方整備局道路部	道路構造保全官
	本州四国連絡高速道路株式会社 岡山管理センター	副所長
	倉敷市	土木課長副参事
	津山市	土木課長
	玉野市	土木課長
	笠岡市	建設管理課長
	井原市	都市建設課長
	総社市	地域応援課長
	高梁市	建設課長
	新見市	建設課長
	備前市	まち整備課長建設課長
	瀬戸内市	建設課長
	赤磐市	建設課長
	真庭市	建設課長
	美作市	建設課長
	浅口市	建設業務課長
	和気町	産業建設部長
	早島町	参事心得建設農林課 係長
	里庄町	農林建設課長
	矢掛町	建設課長
	新庄村	産業建設課長
	鏡野町	建設課課長補佐
	勝央町	産業建設部総括参事参事補
	奈義町	地域整備課長
	西粟倉村	建設課長
	久米南町	建設水道課長
	美咲町	産業建設観光課長建設課長
	吉備中央町	建設課長
	国土交通省中国地方整備局中国技術事務所	副所長
事務局	国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所	計画課・管理第二課
	岡山県土木部	道路建設課
	岡山県土木部	道路整備課
	岡山市都市整備局	道路港湾管理課
	岡山市都市整備局	道路予防保全課
	西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所	統括課

## 背景・必要性

- 1) 定期点検開始 (H26. 7) から5年経過し、**点検が一巡**
- 2) 点検の進捗に伴い、**自治体から負担軽減等についての要望**
- 3) 点検支援新技術 (写真撮影、非破壊検査等) の**進展**



※社会資本整備審議会 道路技術小委員会にて審議

## 見直しの概要

### 1. 損傷や構造特性に応じた点検対象の絞り込み

○特定の小規模な橋 (溝橋、床版橋やH形鋼桁橋) について、**変状項目**や**着目すべき箇所**の特定等により作業量を低減



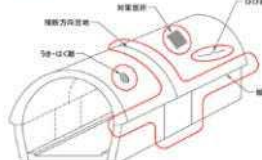
変状項目	着目すべき箇所
特定の溝橋	一般的なコンクリート橋 → 特定の溝橋
○ひびわれ	[8項目]
○床版ひびわれ	○桁端部
○その他	○桁中間支点
	○桁中間中央
	○支間1/4部
	○打継部・後打部・目地部
	○定着部
	○切欠部・ゲルバー部
	○その他
	[5箇所]
	○頂版
	○側壁
	○底版
	○翼壁
	○その他

○特定の水路カルバート等について、**打音・触診の省略**や**変状項目の特定**により作業量を低減



変状項目	利用者被害のおそれないカルバート
一般的なカルバート	
[7項目]	[4項目]
○ひびわれ	○ひびわれ
○さき	○ぬい出し
○ぬい出し	○洗掘・不同沈下
○洗掘・不同沈下	○舗装の異常(上部道路)
○附属物等の変状	
○路上施設の異常(内空道路)	
○舗装の異常(上部道路)	

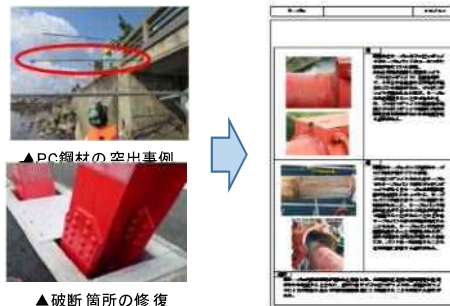
○二回目以降のトンネル点検において、**打音検査の範囲を特定**することで打音検査の作業量を低減



うき・はく離等の発生状況から、二回目以降の点検における打音検査の範囲を例示  
※近接目視は全面実施

### 2. 特徴的な損傷への対応(充実)

○コンクリート、PC鋼材など**埋込部**や**引張材**について着目箇所や留意事項を充実



○水中部材 (パイルベントの腐食・断面欠損、洗掘など) について、着目箇所や留意事項を充実



○シェッド等の土工構造物について、**経年変化**(崩土の堆積や基礎地盤の変状等)の影響を充実



### 3. 新技術の活用による点検方法の効率化

○狭あい部、水中部など、**近接目視の困難箇所**では打音や触診等に加えて、**必要に応じて非破壊検査**や**試掘**を行い、詳細に状態を把握



○自らの近接目視によるときと**同等の健全性の診断**を行うことができると判断すれば、**その他の方法**による場合も**近接目視を基本の範囲**



新技術利用のガイドライン

新技術の性能カタログ

# 平成30年度 研修・講習会、広報活動等の実施状況

## ■ 研修・講習会の実施状況

研修名	対象者	参加人数	研修期間
1 橋梁保全に関する講習会	自治体職員(18名)、建設コンサルタント及び土木建設会社(12名)	30人	H30.6.27～28
2 道路構造物の点検と対策(基礎)講座	自治体職員	8人	H29.6.21
3 岡山県橋梁保全実践講座	自治体職員	31人	H30.10.9・10: 津山会場 【参加者:13名】 H30.10.11・12: 倉敷会場 【参加者:18名】
4 道路メンテナンスミーティング	自治体職員	31人	H31.2.7 1日
5 橋梁点検技術試行の現場見学会	自治体職員、高速道路会社職員	18名	H30.10.23 H30.10.30

## ■ 研修・講習会の実施状況

研修名	対象者	参加人数	研修期間
1 橋梁点検実習	岡山理科大学学生	20人	H30.6.22
2 橋梁点検実習	岡山大学生	30人	H30.8.8

## ■ 取り組み紹介

研修名	対象者	参加人数	期間
1 地域住民と協働した道路施設点検システムの構築(試行)	地元住民10名		H30.9～H31.1

# 平成30年度職員の技術力向上に関する取組状況

## ■ 橋梁保全に関する講習会

### ○目的

橋梁や道路構造物を対象に点検や予防保全のための知識習得を目的

### ○実施日・参加者

開催日:H30.6.27~28

参加者:自治体職員(18名)、  
建設コンサルタント及び土木建設会社(12名)

### ○実習内容

- ・**1日目**(座学):点検のポイント、点検記録の方法、マニュアルの解説
- ・**2日目**(実習):現地にて、点検マニュアルに沿った損傷区分を判定し、点検結果を持ち寄り、グループワークを実施



### ○受講者からの意見・感想

- ・屋外講習は初めてでしたが、非常に的を射ていて理解度が増した。
- ・実施時期をもう少し早くしてもらえると、より業務に活かせると思った。
- ・全体的に理解しやすく、とても参考になった。

## ■ 道路構造物の点検と対策(基礎)講座

### ○実習内容

開催日:H30.6.21

参加者:自治体職員(8名)  
主催:(公財)岡山県建設技術センター

- ・座学による道路構造物(トンネルや大型カルバートなどの道路附属物)の点検業務に関する講習



### ○受講者からの意見・感想

- ・判定の演習や現場をたくさん見る研修があれば、もっと良く分かる
- ・工事現場での問題をどの様に解決したがという事例を教えて欲しい
- ・点検業務の必要性が良く分かった。
- ・維持修繕費の確保についての考え方やトレンドについて教えて欲しい

# 平成 30 年度職員の技術力向上に関する取組状況

## ■ 橋梁保全 実践講座

### ○目的

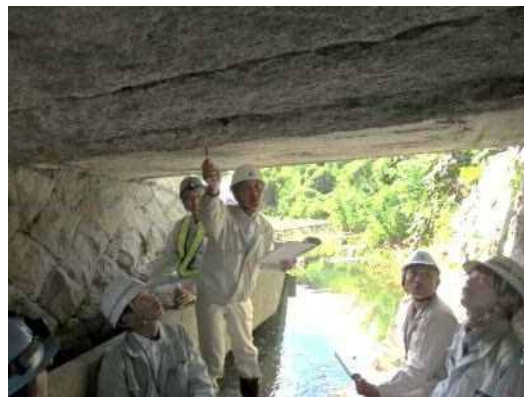
自治体担当者を対象に、**小規模な橋梁を中心に、直営点検の実施に資する**現場実習を核とした実践的な講座を開催

### ○実施日・参加者

開催日:H30.10.9・10:津山会場【参加者:県1名、市町村12名】  
H30.10.11・12:倉敷会場【参加者:県4名、市町村14名】



津山会場



倉敷会場



### ○実習内容

- ・市町村管理橋梁を題材に、現場で実際にものを見ながら点検のポイント等について研修を行う。  
→**直営点検の実施及び点検業者に対し監督する立場となる市町村職員の技術力向上に寄与**

### ○受講者からの意見・感想

- ・現場で実物を見ながら説明を受けることができたので良く理解することができた。
- ・PC、鋼、RCの橋の性質の違い、各々に対応した修繕判断、内容がイメージできてよかった。

# 平成 30 年度職員の技術力向上に関する取組状況

## ■ 道路メンテナンスミーティング

### ○目的

自治体担当者を対象に、橋梁等の道路施設のメンテナンスを行っていく中で、苦慮している事案等について、県・各市町村の担当職員が意見を出し合いながら方向性等の検討を行い、併せて、道路メンテナンスに関する技術力の向上を図るもの。

### ○実施日・参加者

開催日：H31.2.7：岡山県建設技術センター【参加者：21市町村31名】  
主催：岡山県

### ○実習内容

事前に、市町村から提出された相談事項等について、県からの情報提供や意見交換を実施。

### ○状況写真



【相談3】(橋梁)マニュアルにない部材の判定はどうする？

【部材名の不明】  
本マニュアル「一歩」では  
どう判断する？

- 橋台の形状が一般的でなく(道路橋示方書に準拠していない)、点検マニュアルからは損傷度評価(A~E)、対策区分(A~E)、判定区分【一歩】が判断できない橋梁がある。
- 本県において、新橋梁評価から判定区分までを判断するに当たり、どういった判断が妥当と考えらるか？

【相談2】(橋梁)不可視部分の設計はどうすべきか？

この橋の構造が必要だが、  
設計にも考慮は  
含まれていないか？

- 本市では設計当時の調査等が得ていない橋梁の修繕について、基本的に詳細な事前調査は行わず詳細設計を行い工事発注している。
- この場合、工事着手前の調査により設計変更の必要性が生じ、工事費が大きく増大し、予算の確保に改善することがある。
- 調査調査や学級検査などの「事前調査」は、必ず行って詳細設計を出すべきか？
- 調査調査や学級検査などの「事前調査」は、交付金の対象となるのか？

### ○受講者からの意見・感想

- 岡山県、各市町村の貴重な意見が聞けて大変良かった。
- 他市町村の意見が聞けると、自分の考え方が合っているか考えることができるので参考になった。

# 平成30年度職員の技術力向上に関する取組状況

## ■ 橋梁点検技術試行の現場見学会

### ○目的

橋梁点検を実施道路メンテナンス担当者の技術力向上を図る。

## ■ うき・剥離を検知可能な非破壊検査技術

### ○実施日・場所・参加者

○日時:平成30年10月23日(火)

○場所:国道2号 百間川橋(岡山市) ※ 9名参加



## ■ 道路橋点検記録作成支援ロボット技術

### ○実施日・場所・参加者

○日時:平成30年8月8日(水)

○場所:国道53号 田益高架橋(岡山市) ※ 9名参加



# 平成30年度老朽化広報の取組状況(学生向け見学会)

## ○目的

次世代を担う学生に、老朽化の現状、対策の必要性について理解浸透を図る。

## ■岡山理科大学

### ○実施日・場所・参加者

○日時:平成30年6月22日(金)  
○場所:国道180号 首部大橋(岡山市) ※学生20名参加



▲ ひび割れ調査を体験



▲ 鉄筋探査を体験



▲ コンクリートの強度測定  
(非破壊)を体験



▲ 意見交換

## ■岡山大学

### ○実施日・場所・参加者

○日時:平成30年8月8日(水)  
○場所:国道2号 百間川橋(岡山市) ※学生30名参加



▲ ひび割れ調査を体験



▲ 鋼材の腐食状況確認を体験



▲ 橋面の点検を体験



▲ 意見交換



# 地域住民と協働した道路施設点検システムの構築( 試行 )

## 目的

- ・法定点検である5年に1回の定期点検の補完
- ・道路施設の長寿化を図る(一助)
- ・地域密接型の道路施設点検システムの構築
- ・危険な事象に対し、迅速かつ的確に対応

- 点検エリア: 総社市内(総社中原線(富江ポンプ場前～JR伯備線)、国道429号)
- 点検対象: 地下横断歩道、横断歩道橋、標識柱、照明柱、舗装
- 参加者: 住民、NPO法人(吉備野工房ちみち)、総社市、岡山県、岡山国道事務所



一点検前の勉強会一



模擬点検(地下横断歩道)

一点検方法及びスマートフォン操作の確認一

## ※ H30年度の取り組み

- ・10月～1月
- ・散歩がてらに点検
- ・スマートフォン(LINE)活用

## 報告事例

住民から送付された写真

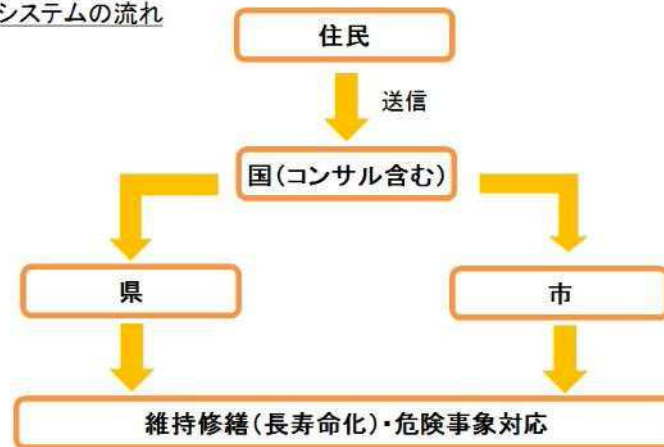


写真により大まかな損傷度判定を行い、必要に応じて現地調査を行う。

撮影日: 2018年12月18日	
撮影者: まりへんみ	
写真NO.	11
ファイル名	AEWP_6402.JPG
損傷の種類	ひびわれ
損傷の程度	中程度
コメント	
【撮影者】	
【(株)エイと日本技術開発】	
露上げコンクリートに乾燥収縮によると考えられるひび割れが生じている。ひびわれ幅は広いものの乾燥状態にあるため、経過観察を行うことが望ましい。	
部材の健全性判定: I～II	
写真NO.	

結果: 自分たちの町の安全は地域で守るという意識が高まった。  
近隣住民とのコミュニケーションができる。

点検システムの流れ



平成31年度 中国地方整備局 受け入れ研修・セミナー 一覧表

受け入れ研修・セミナー名		目的	研修日数	研修時期 (予定)	対象者	研修カリキュラムの概要
研修	橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅰ期)研修	道路法施行規則第4条5の2の規定に基づく道路橋、横断歩道橋、付属物、シェッド・大型カルバートの定期点検に関して、最低限必要な知識と技能の習得を図る。	5日間	7/8～ 7/12	土木施設の維持管理に係る職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路橋、横断歩道橋、付属物、シェッド・大型カルバートの定期点検・診断の基礎知識</li> <li>点検現場実習(道路橋、横断歩道橋、大型カルバート)</li> <li>達成度確認試験(道路橋定期点検)</li> </ul>
	橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅱ期)研修			9/2～ 9/6		
	橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅲ期)研修			11/25 ～ 11/29		
研修	橋梁管理実務者Ⅱ研修	橋梁補修、耐震補強等、橋梁管理に関する専門的な知識及び技術力を修得し、資質の向上を図ることを目的とする。	5日間	12/9 ～ 12/13	土木施設の維持管理に係る職員のうち、一定期間実務に携わる等の経歴を有する者	<ul style="list-style-type: none"> <li>損傷のメカニズム、橋梁補修・補強、橋梁耐震補強</li> <li>橋梁補修等現場実習</li> </ul>
研修	トンネル管理実務者Ⅰ研修	道路法施行規則第4条5の2の規定に基づくトンネルの定期点検に関する最低限必要な知識と技能、及びトンネルの補修・補強の基礎的知識を修得することを目的とする。	4日間	9/24 ～ 9/27	土木施設の維持管理に係る職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路トンネル定期点検・診断の基礎知識、トンネルの施工、トンネルの補修・補強</li> <li>点検現場実習</li> </ul>

# 平成31年度 道路メンテナンス会議等主催の研修等(岡山県)

## ■ 研修・講習会の実施計画

研修名		対象者	参加人数	研修期間	研修目的	カリキュラムの概要
1	橋梁保全に関する講習会	自治体職員、建設コンサルタント及び土木建設会社	50人(予定)	H31.6.27～28 2日間	橋梁を対象に点検や予防保全のための知識習得することを目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検のポイント、点検記録の方法、マニュアルの解説</li> <li>・現地にて、点検マニュアルに沿った損傷区分を判定し、点検結果を持ち寄り、グループワークを実施</li> </ul>
2	道路構造物の点検と対策(基礎)講座	自治体職員	22人	H31.6.14 1日	道路構造物を対象に点検や予防保全のための知識習得することを目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学による道路構造物(トンネルや大型カルバートなどの道路附属物)の点検業務に関する講習</li> </ul>
3	岡山県橋梁保全実践講座	自治体職員	30人	H31.10月頃 1日	小規模な橋梁を中心に、直営点検の実施に資する現場実習を核とした実践的な講座を開催することにより技術力の向上を目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村管理橋梁を題材に、現場で実際にものを見ながら点検のポイント等について研修を行う</li> </ul>
4	道路メンテナンスミーティング	自治体職員	40人	H31.2月頃 1日	橋梁等の道路施設のメンテナンスを行っていく中で、苦慮している事案等について、県・各市町村の担当職員が意見を出し合いながら方向性等の検討を行い、併せて、道路メンテナンスに関する技術力の向上を図ることを目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、市町村から提出された相談事項及び県提案事項について、県等からの情報提供や意見交換を実施</li> </ul>

# 平成31年度 道路メンテナンス会議等主催の研修等(メンテナンス会議)

## ■ 研修・講習会の実施計画

### 定期点検要領の見直しに関する説明会等

講習会名		対象者	研修期間	研修目的
1	実務担当者を対象とした定期点検要領(技術的助言)の説明会	地方自治体	H31.4~	定期点検のための知識習得することを目的
2	溝橋の定期点検実務講習会	国・地方自治体職員、コンサルタント技術者	H31.4~	溝橋を対象に点検のための知識習得することを目的
3	点検支援技術活用講習会	地方自治体 コンサルタント	H31.4~	点検支援技術に対する理解を深め、定期点検業務の中での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得することを目的